

令和8年1月19日

課名 農林水産局林業課

担当者 林業経営・技術担当監 栗栖
内線 3710

令和7年度早生樹コウヨウザンWEBシンポジウムの開催について

1 要旨・目的

本県がコウヨウザン造林を本格的に開始して、本年で10年・造林面積100ha超となるこの節目に、産官学のこれまでの取組を共有することにより、民間企業や行政担当者、研究者との情報交換を促進させ、コウヨウザンの各種取組の活性化を図る。

2 現状・背景

コウヨウザンは、成長が早いことから早期収穫が見込み、萌芽更新が可能であるため、造林経費の縮減が期待されている。本県においては、全国に先駆けて新たな造林樹種として研究や普及を進めてきた。一方で、ノウサギ被害対策や萌芽更新作業等の課題が残っており、課題解決に向けて、全国の取組と連携する必要がある。

3 概要

(1) 実施主体

広島県 農林水産局 林業課

(2) 実施期間（日時）

令和8年1月28日（水） 13:00～17:00

(3) 場所

Zoomによりウェビナー形式で開催

(4) 実施内容

第1部 育種・育苗・造林技術・獣害対策の取組の報告

【登壇者】広島県農林水産局林業課

三好産業株式会社（鹿児島県）

福井県総合グリーンセンター

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 林木育種センター

第2部 木材利用分野の取組の報告

【登壇者】広島県立総合技術研究所林業技術センター

積水ハウス株式会社

第3部 登壇者を中心意見交換・視聴者からの質疑応答・総括

【テーマ】「コウヨウザン造林と木材利用の今後の展望について」

4 その他（関連情報等）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/86/kouyouzan-sympo2025.html>